

2018年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書

| 非公開希望    | 項目   | 内容  |
|----------|------|---|
|          | 所 属  | 文学部 英語英米文化学科<br>3年（留学年次）<br>3年（帰国年次）  |
| 原則<br>公開 | 留学先  | ※大学名、学部、学科名を記入してください。<br>ウェリントン・ビクトリア大学 人文社会学科  |
| 原則<br>公開 | 留学期間 | ※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。<br>2018年 2月 26日 ～ 2018年 11月 18日<br>出国日 2018年 2月 20日<br>最終帰国日 2018年 12月 1日 |

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

### 1. 留学全般について

#### (1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

今回の留学を通じて最も自分の中で変わったと感じることは、英語に対する考え方です。留学でニュージーランドに行くまでは、発音や使う語彙などなるべくネイティブに近い形で英語を扱うことが正しいと考えていました。でも、実際に海外に行って住んでみて、必ずしもネイティブスピーカーのようになることが究極ではないという考えに変わりました。私のようなノンネイティブの人間は、どれだけ努力をしてもネイティブになることはできないことに気づきました。それよりも、自分の言葉としての英語に自信を持って使うことの方が大切だと思うようになりました。これは、留学先で出会ったアジア出身の友達の影響が大きいのです。留学当初、中国や韓国、インドネシアやシンガポール人の友達の英語のレベルの高さと、ネイティブスピーカーと円滑にコミュニケーションを取る様子にとっても驚きました。こういった経験を通じて、現在のような意識になれたことは留学を通じて自分が成長した点だなと感じています。

#### (2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

現地での生活に必要なものについてもっと情報を集めておくべきだったと反省しています。現地についてから銀行口座を開いたり携帯電話を契約したりといった事務的な作業を行うのは正直不安が大きかったですし、時間がかかったりしたので、そういった準備はとても大切だと思います。あとは、留学先の国で有名な食べ物やスポーツといった文化について調べておくと、向こうで友達を作る時に役に立つと思いますし、何より普段の生活がとても充実すると思います。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

ビクトリア大学は留学生に対する支援がとても手厚く、留学生に向けた講座などもありますし、フレッシュマン向けのサービス等も活用できるので授業や課題への不安はあまり感じませんでした。当初は授業を英語で受けていることもあり理解するのが大変だったり、課題の量に驚きましたが、徐々に慣れて行くことができましたし大変な分楽しくためになる授業が多かったという印象です。また、日本に比べてそれぞれのサブジェクトのレベルが高いという印象も抱きました。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

ビクトリア大学には3つキャンパスがあり、どのキャンパスもとても綺麗で大きな図書館があるので勉強するには申し分ない環境でした。自分が使っていたキャンパスは1つだけでしたが、3つのキャンパスは徒歩で移動できたので普段とは違う図書館で気分を変えて勉強したりすることができました。キャンパスの中のカフェのレベルが高かったのが本当によかったです。

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

**語学面：**留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生向けのアカデミックスキル講座など複数開講されており、自分の授業がない時間にそういった講座を取ることができます。費用はかかりません。また、授業の規模が大きい科目には授業についていくための補修講座があります。それは、留学生用というわけではありませんでしたが、課題の進め方などとても役に立つ講座で助かりました。

**生活面：**生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

病気や怪我をした際は大学のヘルスケアセンターで処置を受けることが可能です。自分は使う機会はありませんでしたが、友達が風邪をひいた時に薬を処方してもらっていたので安心でした。大学の保険に留学生は全員加入するので、費用の心配はありません。

**資金面：**現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

現地では奨学金はもらっていませんでした。奨学金についての情報は持っていません。

### (4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

私の滞在したウェリントンという街は非常にコンパクトで、大学や寮から街の中心まで歩くことができたので、街で遊ぶことも多かったのですが危険を感じることは一度もありませんでした。犯罪や事故に関することは目撃することも、聞くこともなかったので治安は非常に良い街だと感じました。

### (5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

### (6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

| ①留学先での履修科目名 (単位数) | ②本学で単位認定された科目名 (単位数)       |
|-------------------|----------------------------|
| ARTH113 (20)      | 現代研究コース演習 (4)              |
| ARTH114 (20)      | 現代研究コース演習 (4)              |
| MAOR101 (20)      | アカデミックプレゼンテーション中級 I II (4) |
| TOUR101 (20)      | アカデミックライティング上級 I (2)       |
| ENGL114           |                            |
| FILM102           |                            |

### 3. 宿舎について

#### (1) 種類

大学の寮

#### (2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 1080 NZ\$, (日本円) 約 80000 円

#### (3) 食事

自炊

#### (4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 計 10 分

#### (5) 感想、良かった点・悪かった点

寮から大学まで徒歩で通学できることに加え、街の中心まで 10 分という好立地な寮に滞在できたのは非常によかったです。

強いていうなら、大学が坂の上にあるため毎日上り下りが大変でした。また、雨の日でも歩いて大学までいかなければならないので雨の日は少し大変でした。

### 4. 費用について

#### (1) 学 費

協定留学だったので学習院に通常通りの学費を収めていました

#### (2) 渡航方法と金額

飛行機、(日本円) 約 120000 円(往復)

#### (3) 生活費

(現地通貨) 月額 約 1300 NZ\$, (日本円) 約 110000 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

#### (4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード/クレジットカード/現金

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

基本的に決済はクレジットカードで行っていました。キャッシュカードは留学先で現金が必要な時にとっても役立ちます。カードが止まったりすることもなかったので特に不自

由はありませんでした。

現金は渡航の際の緊急用として 100000 円ほど持って行きました。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

5. 保険について

(1) 保険会社名

ウェリントン・ビクトリア大学の学生保険

(2) 保険料

約 27000 円

(3) 加入した保険の種類、内容

大学でのヘルスケアを受けることができます。

(4) 感想、良かった点・悪かった点

大学の中のヘルスセンターで診療してもらったり、薬を処方してもらえるのでとても安心です。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／航空便／海外宅配便

(2) 持って行って良かったと思う物

自炊だったので日本の調味料を送ってもらったのですが、日本食が恋しくなる時とても重宝しました。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

あまり服を持って行き過ぎると帰りの荷物をまとめるのに苦労します。留学先で衣服は購入できますし、多分買うことになると思うので服は最小限でいいと思います。

(4) 持って行けば良かったと思う物

特になし、必要であれば大抵現地で調達できるので。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業の時間に合わせて起き、準備をしてから授業に出かけます。授業後は復習と次の日の予習を進めます。課題が忙しい時期は夜遅くまで学校に残って勉強しています。課題がなければ帰宅前に大学のジムに行きます。その後は、帰って夕飯を作るときもあったり、寮の友達とご飯を食べに出かけたりします。平日は基本的に授業中心の生活です。

(2) 週末

週末はいつもより遅めに起きて、ゆっくり朝食を取ります。午後から友達と遊びに行ったり、夜は飲みに出かけたりします。街の中心まで徒歩でいけるので遊ぶときは基本街に出ます。カフェが多いので週末の昼はカフェを巡ることが多いです。

## 8. 後輩へのアドバイス等

留学していた1年間は自分の人生の中で1番充実した1年間でした。英語を上達させることができただけでなく、自分の知らない世界に飛び出して新しい世界を知るといことはかけがえのない経験です。もちろん、準備や向こうでの授業や課題についていくことは大変ですが、日本では学べないことが学べる絶好の機会なので、少しでも留学に興味のある人は是非留学について調べてみて実現させて欲しいと思います。

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。